

笠女郎、かさのいらつめ 大伴家持に贈る歌一首
おほともやかもぢ おく うた

一四五一番

水鳥みづとりの 鴨かもの羽色はいろの 春山はるやまの おほつかなくも
思おもほゆるかも

紀女郎の歌一首
きのいらつめ うた

一四五二番

闇やみならば うべも来きまさじ 梅うめの花はな 咲さける月夜つきよ
に 出いでまさじとち